

九州医師会連合会 第126回臨時委員総会

理事 白井 和美



九州医師会連合会第126回臨時委員総会

日 時 令和5年11月24日(金) 17:00～17:50
場 所 ホテルニュー長崎 3階 鳳凰閣東中

次 第

1. 開 会
2. 九州医師会連合会会長挨拶
3. 来賓祝辞
4. 座長選出
5. 報 告
 - 1) 九州医師会連合会第412回常任委員会について (長崎)
 - 2) 九州医師会連合会事業現況について (長崎)
 - 3) 九州区師会連合会歳入歳出現計について (長崎)
 - 4) 第123回九州医師会連合会総会及び医学会関連行事について (長崎)
 - 5) その他
6. 議 事
 - 第1号議案 第123回九州医師会連合会総会の宣言・決議(案)に関する件
7. 協 議
8. そ の 他
9. 閉 会

に戦いたいとの挨拶ののち、松本日本医師会長から、関係省庁の今回の改定に向けての動きに大変憤慨しており、各地区での抗議に向けた活動に期待するとの来賓挨拶があった。

その後、報告事項3題は長崎県からの説明に特に質問もなく了承され、議事、第123回九州医師会連合会総会の宣言・決議(案)についても、原案通り承認された。

閉会に先立ち、日本医師会今村常任理事、濱口常任理事、羽生田参議院議員から情勢報告があった。今村先生は、トリプル改定に向け現場と危機感を共有することが重要と話され、濱口先生は、組織強化のため新入会員の獲得にご協力をと、羽生田議員からは無事副大臣職を務められたと報告があった。最後に今一度、松本日本医師会長から今後開催の国民医療を守る会議等への支援を呼びかけられ会議は閉会した。

令和5年11月24日長崎県にて標記会議が開催されたので報告する。

開会に続き、森崎九州医師会連合会長から、トリプル改定に向け九医連は日本医師会とともに

※報告書の詳細につきましてはホームページをご参照下さい。

<https://www.okinawa.med.or.jp/medical/kaihou/houkoku/202303-2/>

